

令和5年度 予算のポイント

令和4年度3月補正予算を含む13ヵ月予算

「人・まちを守り 未来へつなぐ」予算



久留米市



目次

	ページ		ページ
1 . 令和5年度予算編成の方針	… 2	6 . その他の主な新規項目	… 57
2 . 予算の規模	… 4	7 . 主な見直し項目	… 58
3 . 一般会計予算	… 5		
4 . 財政状況	… 9		
5 . 令和5年度の主な事業			
安心・安全のまち	… 11		
活力のあるまち	… 23		
生き生き生活・活躍できる共生のまち	… 37		
行政サービスのデジタル化	… 53		

1. 令和5年度予算編成の方針

▶ 市政運営方針

「安心・安全で活力にあふれた、誰もが生き生きと生活・活躍できる共生のまち」を実現する

▶ 重点施策

◆ 繰り返されてきた浸水災害の克服

安心・安全な暮らしに不可欠な水害対策を着実に前に進め、市民の暮らしを守ります。

◆ ウィズコロナに対応した地域社会・経済の活性化

感染症対策と両立した社会経済活動の回復を後押しし、活力にあふれた地域社会を実現します。

◆ 急激な少子化や人口減少への対応

結婚・妊娠・出産・子育ての希望を叶え、次世代に選ばれるまちを実現します。

◆ 未来を支える人づくり

未来を担う子どもや若者に寄り添い応援するとともに、全ての人々が自分らしく暮らせるまちを実現します。



「人・まちを守り 未来へつなぐ」予算

国の補助金など有効な財源を最大限活用し、13ヵ月予算を編成



国の補正予算等を活用し、令和5年度予算から前倒した3月補正予算事業

- 送迎用バス安全管理支援事業
- 水田・園芸農業等総合対策事業
- 地域商業支援事業（プレミアム商品券）
- 学校施設整備事業
- 道路・公園、農地防災など社会基盤整備関連 など

① + ② = 1,463億6千万円

2. 予算の規模

会計別予算総括表

(単位:千円,%)

区 分		令和5年度 予算額(A)	令和4年度 予算額(B)	比 較	
				増減額(A-B)	増減率
久留米市予算総額		275,592,000	268,721,000	6,871,000	2.6
一 般 会 計		144,870,000	146,320,000	▲ 1,450,000	▲ 1.0
特 別 会 計	国民健康保険事業	33,283,000	33,297,000	▲ 14,000	0.0
	競輪事業	33,215,000	25,868,000	7,347,000	28.4
	卸売市場事業	379,000	390,000	▲ 11,000	▲ 2.8
	市営駐車場事業	89,000	73,000	16,000	21.9
	介護保険事業	28,652,000	27,970,000	682,000	2.4
	農業集落排水事業	285,000	276,000	9,000	3.3
	特定地域生活排水処理事業	240,000	239,000	1,000	0.4
	後期高齢者医療事業	5,100,000	4,759,000	341,000	7.2
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	139,000	137,000	2,000	1.5
	産業団地整備事業	1,279,000	65,000	1,214,000	1,867.7
	住宅新築資金等貸付事業	0	47,000	▲ 47,000	皆減
計		102,661,000	93,121,000	9,540,000	10.2
公営企業会計					
	水道事業	8,164,000	8,032,000	132,000	1.6
	下水道事業	19,897,000	21,248,000	▲ 1,351,000	▲ 6.4
計		28,061,000	29,280,000	▲ 1,219,000	▲ 4.2

3. 一般会計予算

○ 令和5年度一般会計の予算規模は、**1,448億7千万円**

区分	令和5年度	令和4年度	増減	伸び率
一般会計	1,448億7千万円	1,463億2千万円	▲14億5千万円	▲1.0%

増減要因 《予算分析》 令和5年度予算額、()内は、対前年度増減額・伸び率を表します。

歳入

- **市税**は、個人・法人市民税の増を見込み、**増加**
416億6千万円 (4億7千万円・1.1%)
- **地方交付税**は、普通交付税の増を見込み、**増加**
226億6千万円 (7億6千万円・3.5%)
- **国庫支出金**は、新型コロナウイルス感染症対策の負担金や、子育て世帯生活支援特別給付金に伴う補助金の減などを見込み **減少**
296億5千万円 (▲11億3千万円・▲3.7%)
- **寄附金**は、ふるさと久留米応援寄附金の減などを見込み **減少**
24億5千万円 (▲6億円・▲19.5%)
- **諸収入**は、貸付金元利収入の減などを見込み**減少**
65億7千万円 (▲14億2千万円・▲17.8%)
- **市債**は、臨時財政対策債の減などを見込み、**減少**
81億7千万円 (▲2億8千万円・▲3.3%)

歳出 (性質別)

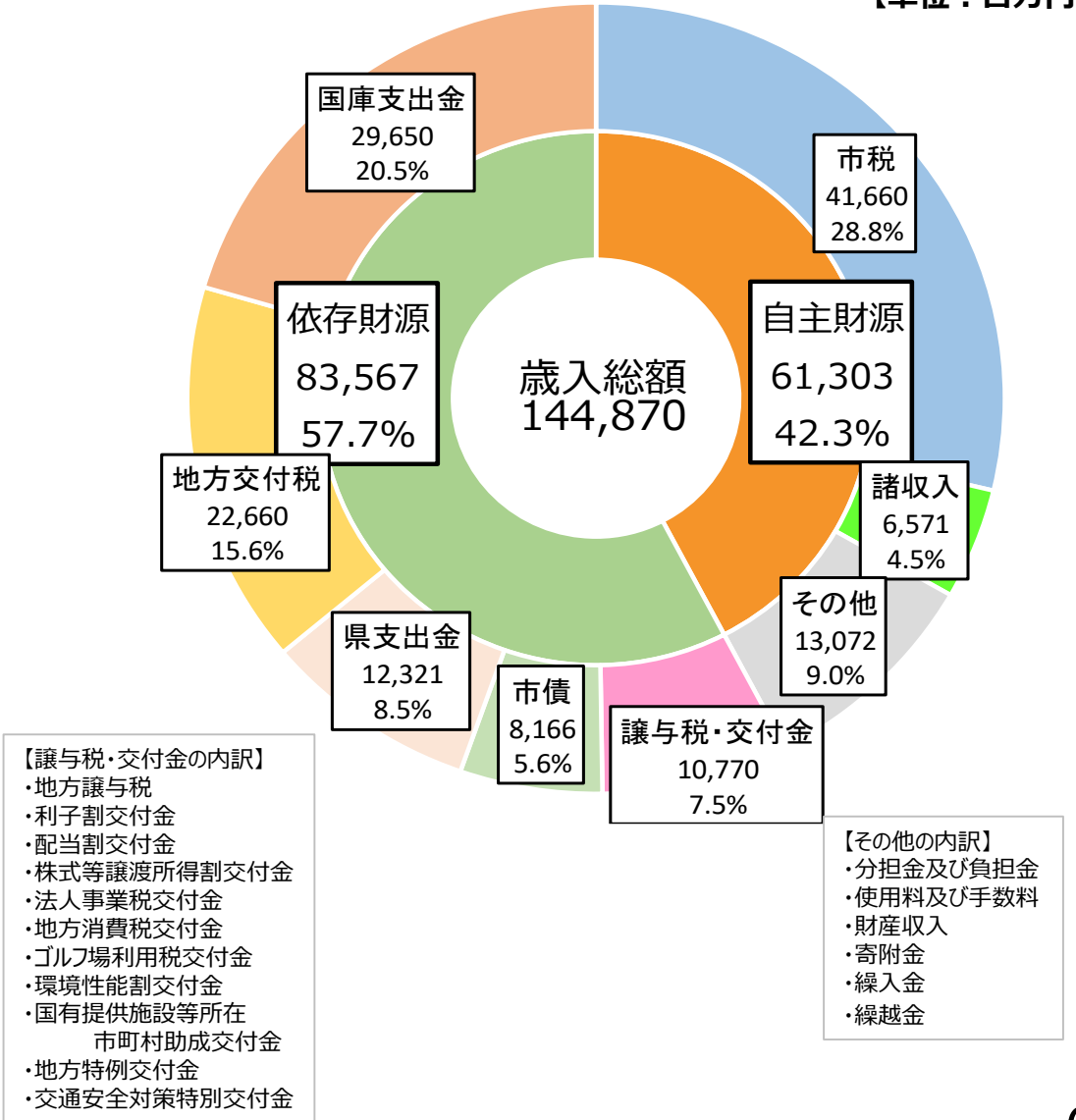
- **物件費**は、新型コロナウイルス感染症対策の減などに伴い、**減少**
235億2千万円 (▲11億4千万円・▲4.6%)
- **扶助費**は、日中活動給付費や居住支援給付費の増などに伴い、**増加**
453億3千万円 (14億6千万円・3.3%)
- **積立金**は、ふるさと久留米応援基金積立金の減などに伴い、**減少**
25億7千万円 (▲5億8千万円・▲18.5%)
- **貸付金**は、制度融資の減などに伴い、**減少**
50億7千万円 (▲16億円・▲24.0%)
- **普通建設事業**は、障害者福祉施設整備促進事業や中心市街地再整備事業の増などに伴い、**増加**
94億8千万円 (8億2千万円・9.5%)

一般会計歳入

(単位:千円,%)

区 分	令和5年度予算額		令和4年度予算額		対前年度 伸 率
		構成比		構成比	
1 市税	41,660,003	28.8	41,190,803	28.1	1.1
2 地方譲与税	854,092	0.6	874,056	0.6	▲ 2.3
3 利子割交付金	18,000	0.0	21,000	0.0	▲ 14.3
4 配当割交付金	407,000	0.3	214,000	0.1	90.2
5 株式等譲渡所得割交付金	178,000	0.1	250,000	0.2	▲ 28.8
6 法人事業税交付金	789,000	0.6	899,000	0.6	▲ 12.2
7 地方消費税交付金	7,925,000	5.5	6,818,000	4.7	16.2
8 ゴルフ場利用税交付金	8,000	0.0	8,000	0.0	0.0
9 環境性能割交付金	94,000	0.1	106,000	0.1	▲ 11.3
10 国有提供施設等所在 市町村助成交付金	116,000	0.1	116,000	0.1	0.0
11 地方特例交付金	321,000	0.2	285,000	0.2	12.6
12 地方交付税	22,660,000	15.6	21,899,000	15.0	3.5
13 交通安全対策特別交付金	60,000	0.0	65,000	0.0	▲ 7.7
14 分担金及び負担金	753,753	0.5	786,888	0.5	▲ 4.2
15 使用料及び手数料	2,491,141	1.7	2,489,708	1.7	0.1
16 国庫支出金	29,650,571	20.5	30,776,112	21.0	▲ 3.7
17 県支出金	12,320,774	8.5	12,333,877	8.4	▲ 0.1
18 財産収入	366,046	0.3	530,188	0.4	▲ 31.0
19 寄附金	2,450,723	1.7	3,045,972	2.1	▲ 19.5
20 繰入金	6,710,404	4.6	6,872,264	4.7	▲ 2.4
21 繰越金	300,000	0.2	300,000	0.2	0.0
22 諸収入	6,570,493	4.5	7,992,632	5.5	▲ 17.8
23 市債	8,166,000	5.6	8,446,500	5.8	▲ 3.3
うち臨時財政対策債	1,566,000	1.1	2,750,000	1.9	▲ 43.1
合 計	144,870,000	100.0	146,320,000	100.0	▲ 1.0

【単位：百万円】

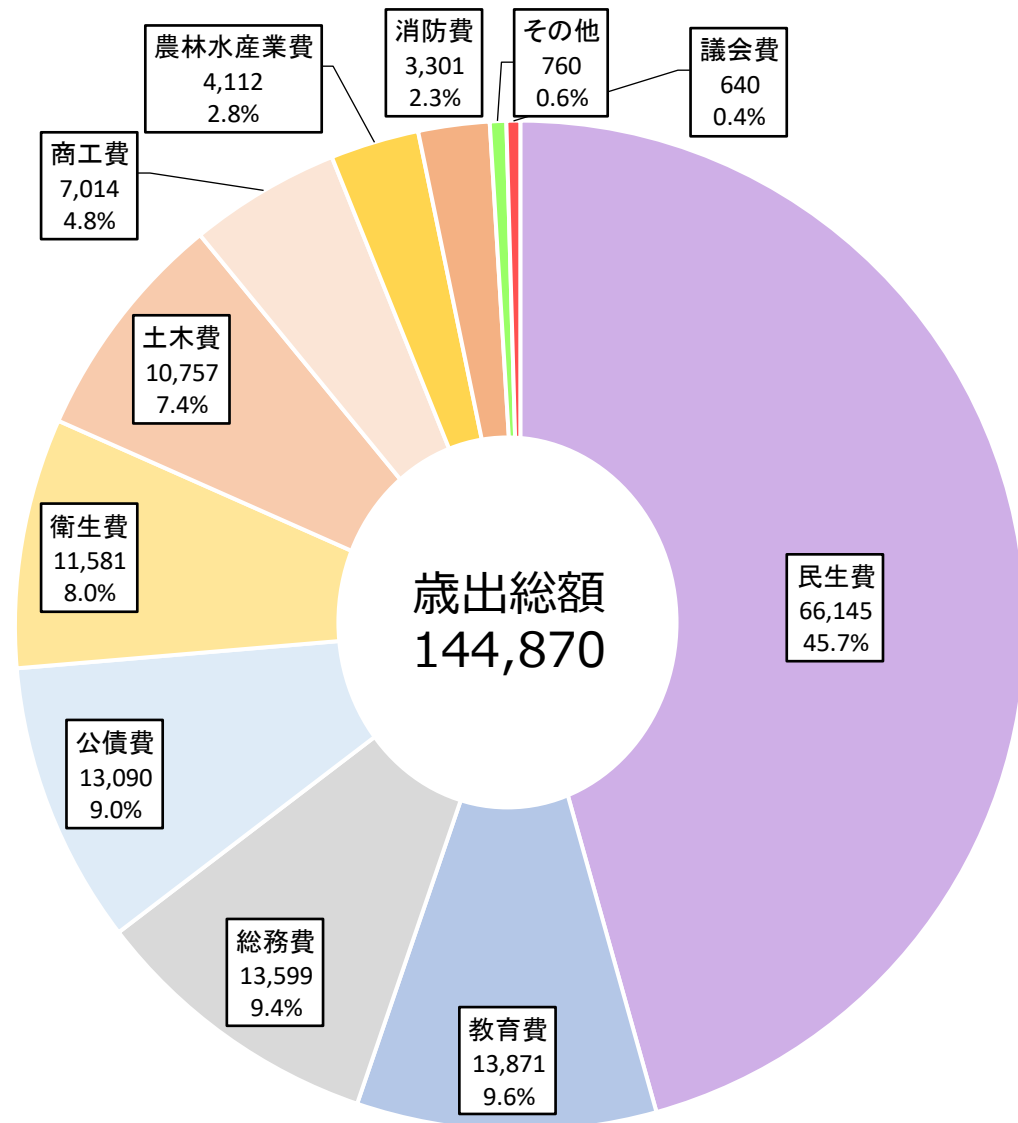


一般会計歳出（目的別）

【単位：百万円】

(単位:千円,%)

区 分	令和5年度予算額		令和4年度予算額		対前年度 伸 率
		構成比		構成比	
1 議会費	640,226	0.4	637,431	0.4	0.4
2 総務費	13,599,435	9.4	14,279,387	9.8	▲ 4.8
3 民生費	66,144,503	45.7	64,303,102	43.9	2.9
4 衛生費	11,581,120	8.0	13,404,205	9.2	▲ 13.6
5 労働費	246,711	0.2	260,851	0.2	▲ 5.4
6 農林水産業費	4,112,031	2.8	3,984,360	2.7	3.2
7 商工費	7,013,987	4.8	8,586,280	5.9	▲ 18.3
8 土木費	10,756,471	7.4	10,717,241	7.3	0.4
9 消防費	3,301,068	2.3	3,320,710	2.3	▲ 0.6
10 教育費	13,871,060	9.6	12,839,135	8.8	8.0
11 災害復旧費	2	0.0	2	0.0	0.0
12 公債費	13,090,280	9.0	13,474,190	9.2	▲ 2.8
13 諸支出金	13,106	0.0	13,106	0.0	0.0
14 予備費	500,000	0.4	500,000	0.3	0.0
合 計	144,870,000	100.0	146,320,000	100.0	▲ 1.0



【その他の内訳】
 ・労働費
 ・災害復旧費
 ・諸支出金
 ・予備費

一般会計歳出（性質別）

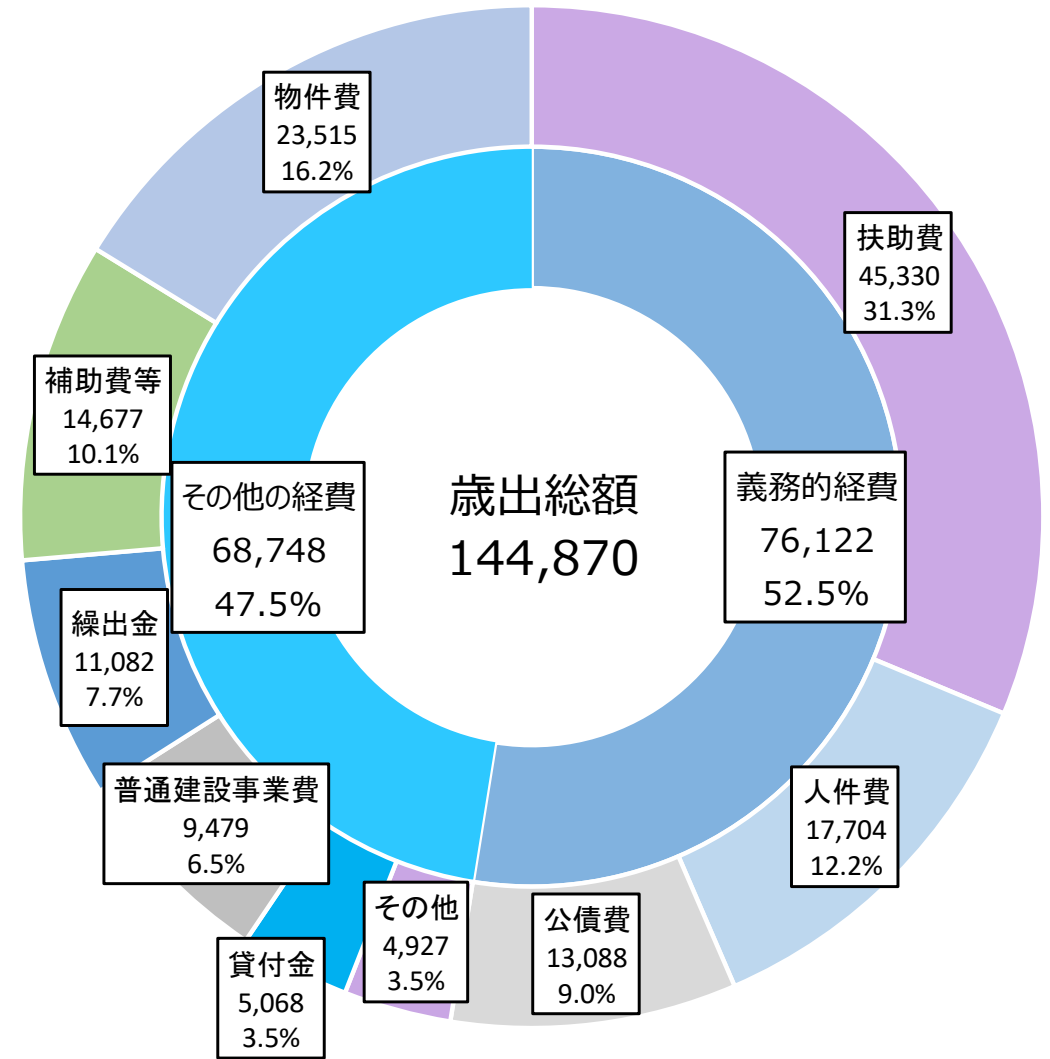
（単位：千円，％）

【単位：百万円】

区 分	令和5年度予算額		令和4年度予算額		対前年度 伸 率
		構成比		構成比	
人件費	17,704,362	12.2	17,342,285	11.9	2.1
物件費	23,515,052	16.2	24,657,307	16.8	▲ 4.6
維持補修費	1,710,478	1.2	1,643,882	1.1	4.1
扶助費	45,329,731	31.3	43,870,242	30.0	3.3
補助費等	14,676,930	10.1	15,156,984	10.4	▲ 3.2
公債費	13,087,959	9.0	13,471,869	9.2	▲ 2.8
積立金	2,565,390	1.8	3,148,447	2.1	▲ 18.5
投資及び出資金	151,482	0.1	276,469	0.2	▲ 45.2
貸付金	5,067,880	3.5	6,663,880	4.6	▲ 24.0
繰出金	11,081,881	7.7	10,928,528	7.5	1.4
普通建設事業	9,478,853	6.5	8,660,105	5.9	9.5
補助事業	3,898,537	2.7	3,192,274	2.2	22.1
単独事業	5,580,316	3.8	5,467,831	3.7	2.1
災害復旧事業	2	0.0	2	0.0	0.0
予備費	500,000	0.4	500,000	0.3	0.0
合 計	144,870,000	100.0	146,320,000	100.0	▲ 1.0

【その他の内訳】

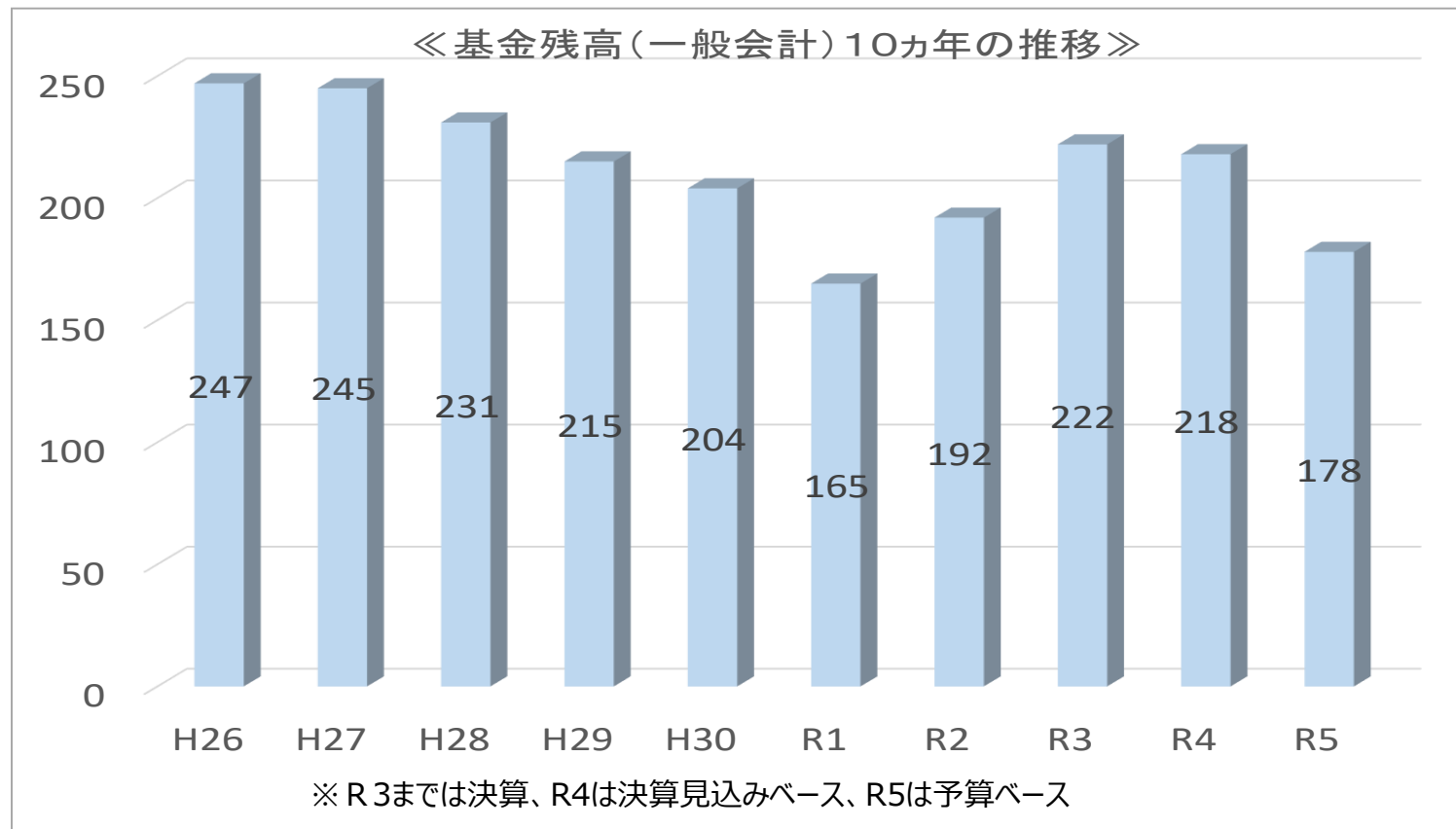
- ・維持補修費
- ・積立金
- ・投資及び出資金
- ・災害復旧事業
- ・予備費



4. 財政状況

①基金の状況

(単位：億円)



※令和5年度予算：主要4基金30億円の取り崩し。

項目	4年度末残高見込	5年度積立額	5年度取崩額	5年度末残高見込
基金合計	217億8千万円	25億8千万円	65億7千万円	177億9千万円
うち主要4基金	141億円	7千万円	30億円	111億7千万円

令和5年度予算時点における主要4基金※の活用額は、30億円としています。

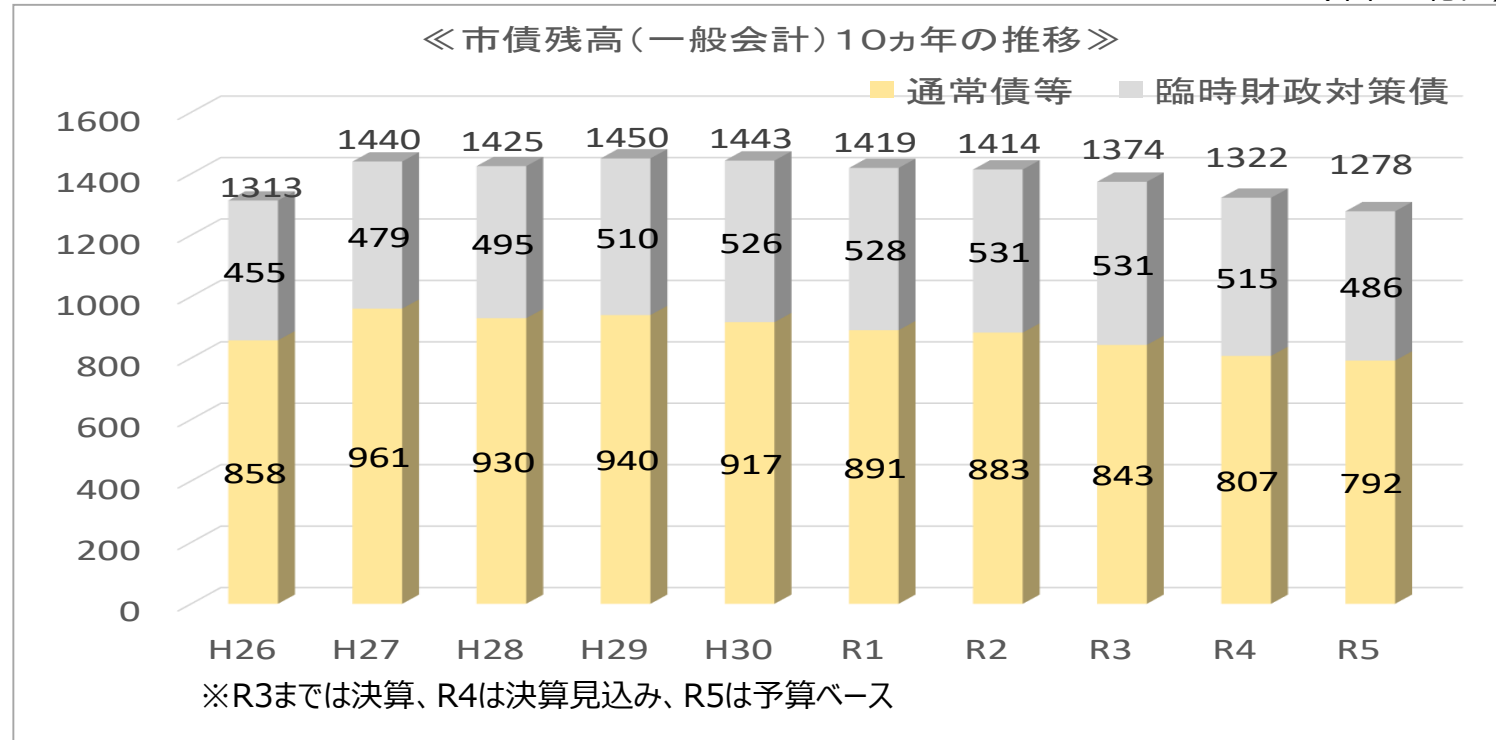
なお、決算時点での基金取り崩し額が極力少なくなるよう、予算執行においてはさらなる創意工夫を図り、事務事業の経費節減に努めます。

また、市債の発行にあたっては、交付税措置のある有利な地方債から優先的に活用し、可能な限り実質的な市債残高を抑制するよう努めます。

※主要4基金とは、財政調整基金・都市建設基金・減債基金・土地開発基金のことです。

②市債の状況

(単位：億円)



※令和5年度末の市債残高見込は、市民一人あたり約42.3万円。

※臨時財政対策債を除く負担は、市民一人あたり約26.2万円。

なお、通常債等は合併特例債など地方交付税による財源措置があるものも含まれます。

※令和5年2月1日人口 301,805人で算定。

◇地方債区分ごとの借入状況

項目	4年度末残高	5年度借入額	5年度償還額	5年度末残高見込	地方債区分			
					4年度予算	5年度予算	増減	
市債	1,322億1千万円	81億7千万円	125億5千万円	1,278億3千万円	通常債等(建設地方債)	57億円	66億1千万円	9億1千万円
うち臨時財政対策債※	515億2千万円	15億6千万円	44億7千万円	486億1千万円	臨時財政対策債	27億5千万円	15億6千万円	▲11億9千万円
差引通常債等など	806億9千万円	66億1千万円	80億8千万円	792億2千万円	合計	84億5千万円	81億7千万円	▲2億8千万円

※臨時財政対策債…形式的には自治体が地方債を発行するが、償還に要する費用は後年度の地方交付税で全額措置されるため、実質的には交付税の代替財源とみることができる。

安心・安全のまち

繰り返される浸水災害への対策は最重要課題です。ハード・ソフト両面から対策を進め、安心安全な暮らしを実現します。また、暮らしの中の安全対策や、インフラ施設の適切な維持管理と長寿命化による快適な都市環境の確保に取り組めます。

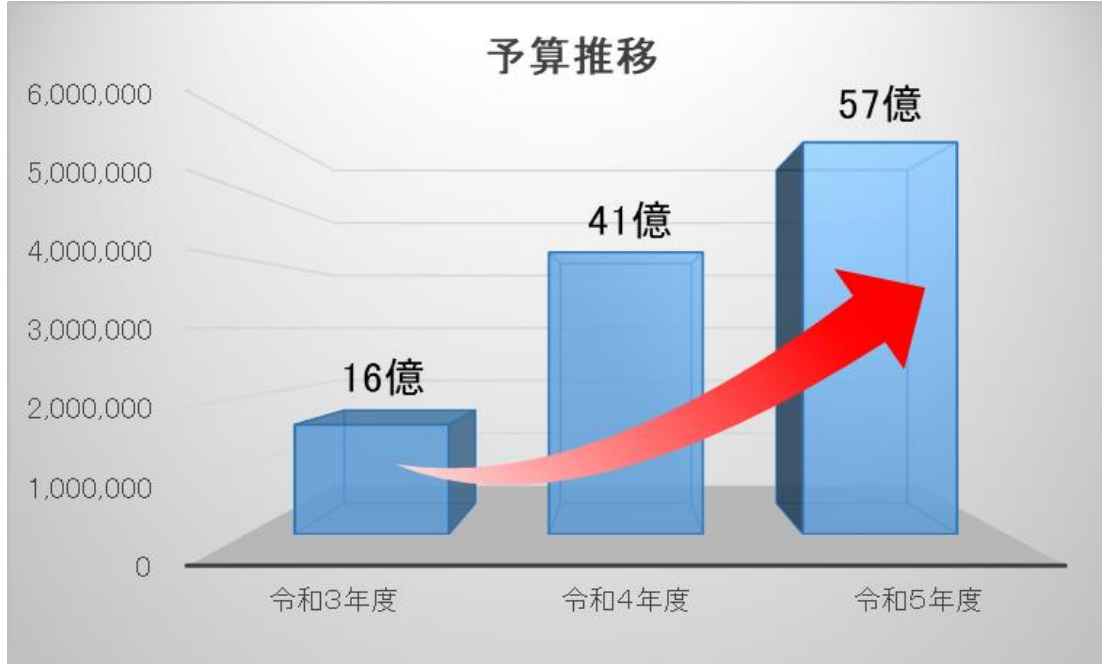
流域治水の推進

流域治水推進事業 [3月補正予算含む・下水道事業会計含む]

5,702,203千円

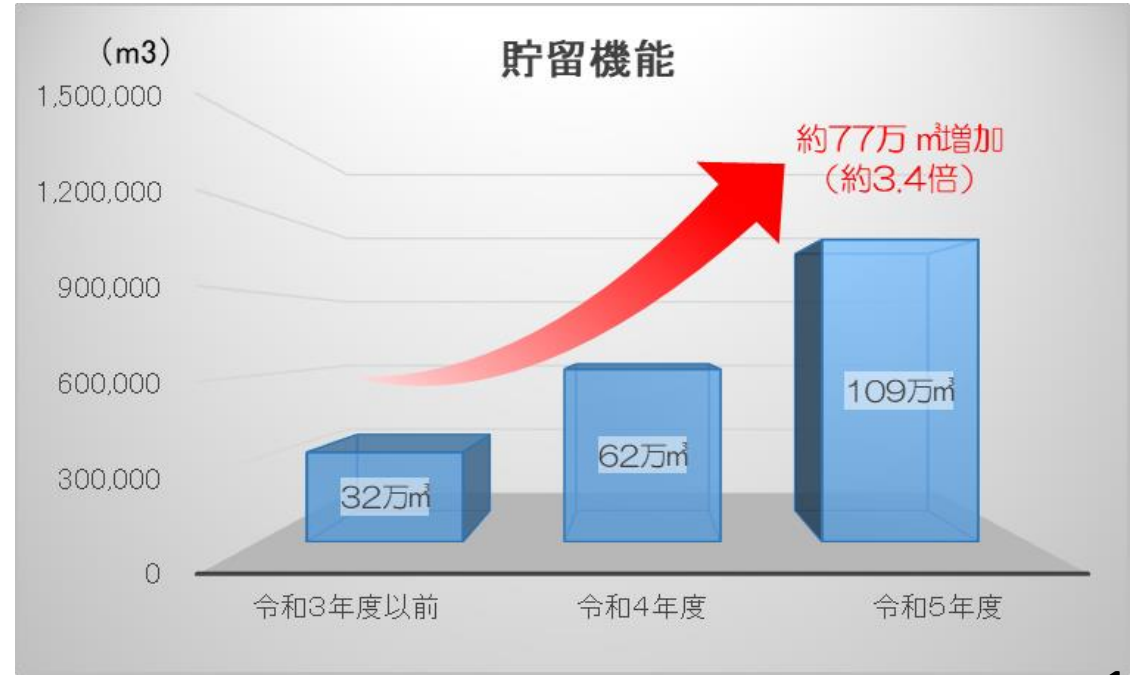
予算を重点配分

令和4年度より予算額を**約16億円**増額し、引き続き最重要課題である浸水対策に取り組めます。



貯留機能が大幅増加

令和3年度以前に比べて令和5年度は貯留機能が**約3.4倍**に強化される予定です。



流域治水の推進 — 浸水被害軽減対策 —

総合内水対策計画等の推進 〔3月補正予算含む・下水道事業会計含む〕 **3,657,950千円**

▶ 浸水被害を軽減するため、金丸川・池町川、下弓削川・江川、大刀洗川・陣屋川及び筒川流域でハード整備を進めます。

【金丸川・池町川流域浸水対策】 1,426,700千円
 ・雨水幹線・ポンプ設備等

【下弓削川・江川流域浸水対策】 1,329,300千円
 ・久留米大学貯留施設、御幣島公園貯留施設等
 ※上記施設はR 5年度完成予定

【大刀洗川・陣屋川流域浸水対策】 138,500千円
 ・新川水門設計、長池川根固め等

【筒川流域浸水対策】 763,450千円
 ・篠山排水ポンプ増設、筒川護岸かさ上げ等



久留米大学貯留施設施工状況



篠山排水ポンプ増設箇所

流域治水の推進 ー農業用施設の整備・改修による対策ー

農業用施設整備

・クリーク浚渫など [3月補正予算含む]

954,886千円

▶ クリークの先行排水やため池の低水位管理のほか、浚渫や樋門の改修など、農業用施設を活用した治水対策に取り組めます。

○ **流域湛水減災対策事業** 535,224千円

・クリーク浚渫・樋門樋管改修 376,224千円

【貯水堀（城島地区）】

● **新** 貯水堀設計業務委託（2箇所） 60,000千円

● **新** 県営事業負担金（2箇所） 11,900千円

○ **防災重点農業用ため池浚渫事業** 138,300千円

防災重点農業用ため池の浚渫作業を計画的に進めます。



貯水堀のイメージ



ため池浚渫の状況

流域治水の推進 — 協働の取り組みによる治水対策の推進 —

協働による治水対策の推進 〔下水道事業会計含む〕

27,320千円

▶ 市民・地域・企業・行政が連携して、流域治水対策の取り組みを進めます。

④ 「皆で流域治水！」 5,600千円

協働による排水路の浚渫などの取り組みを市内各所に展開します。

【実施時期】R5年5月

【実施場所】7箇所 旧久留米市地域（2箇所）

各総合支所地域（5箇所） ※詳細は調整中



協働による浚渫作業の様子

④ 田んぼダムの促進 10,140千円

取り組み団体 24団体見込

(R4年5団体、R5年新規19団体見込)



田んぼダムの取り組み状況

○ 止水板等設置補助金 10,500千円

○ 貯留タンク設置補助金 1,080千円

総合的な危機管理の強化

防災対策強化事業

57,789千円

▶ 防災行政無線の更新や避難所環境の整備を行い、防災力の強化を図ります。

新 防災行政無線（IP無線）の更新 16,626千円
携帯電話と無線が一体となった多機能型無線を導入します。

新 備蓄用オストメイトトイレの購入 396千円

○ 防災啓発品の充実 1,029千円
地域での自主防災活動の活性化と市民の防災意識の向上のため、啓発用DVD等を充実させます。

拡 ペット同伴専用避難所 1,438千円
ペット同伴避難所を1カ所から最大3カ所に増やします。



ペット避難所

暮らしの安全対策の推進

セーフコミュニティ推進事業

12,875千円

- ▶ 安心して生活できる安全なまちを目指し、けがや事故を予防するセーフコミュニティ活動を推進します。令和5年度は3回目の国際認証取得に向けて取り組みます。

- | | |
|-------------------|---------|
| ○ 認証取得に向けた本審査、認証式 | 7,550千円 |
| ○ セーフコミュニティ推進支援業務 | 1,100千円 |

主なスケジュール
 6月：認証申請
 8月：本審査
 12月：認証取得

セーフコミュニティとは

「身の回りで起こるけがや事故は、予防することができる」という考え方に基づき、市民・行政・関係機関などが連携して、様々なデータを用いながら「安全で安心なまちづくり」に取り組む地域のことです。



セーフコミュニティ公式ロゴマーク

暮らしの安全対策の推進

● 新 高齢運転者の交通事故防止対策事業

22,594千円

- ▶ 高齢運転者による交通事故を防ぎ、安心・安全なまちづくりを推進するため、運転免許を自主的に返納した、または期限切れ失効を選択した高齢者の皆さんに、申請にもとづき交通系ICカードを交付します。

○ 支援品 22,000千円

○ 啓発に要する経費
550千円

項目	内容
申請できる方	令和5年4月1日以降に運転免許を返納又は失効した75歳以上の方
対象人数	1,100人（見込み）
支援品	2万円相当のnimocaまたはSUGOCA

暮らしの安全対策の推進

● 新 送迎用バス安全管理支援事業 [3月補正予算]

47,378千円

- ▶ 子どもの車内への置き去り事故を防止するため、安全装置の導入を図るとともに、関係職員への研修を実施します。

○ 安全装置の導入支援 46,378千円



施設等	台数
保育所等	35
学童保育所届出施設	6
障害児通所支援事業所	200
特別支援学校等	27

○ 関係職員研修 1,000千円

脱炭素・循環型社会の構築

ゼロカーボンシティ久留米形成事業

3,367千円

- ▶ 2050年までに温室効果ガス排出を実質ゼロにするという目標に向けて、事業者や市民の脱炭素の取り組みを進めます。

● 新 脱炭素経営推進補助金

566千円

事業者の脱炭素経営を促進するため、環境認証制度の登録や建築物の脱炭素化等に向けた支援を行います。

○ ZEH化推進補助金

2,000千円



久留米市環境部庁舎設置の太陽光パネル

👉 ZEHとは

「Net Zero Energy House（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）」のことで、高い断熱性能や省エネルギー機器と太陽光発電システム等を用いて、正味のエネルギー収支ゼロを目指す住宅のこと。

上津クリーンセンター更新事業

185,019千円

- ▶ 令和10年度稼働開始に向け、整備事業者の選定や建設予定地内の建物の解体等を行います。



現在の上津クリーンセンター

- **基本設計・事業者選定アドバイザー業務** 32,000千円
- **建設予定地内の建物の解体等** 71,900千円
- **建設予定地の整地等** 73,002千円



老朽空家等除却促進事業

66,482千円

▶ 周辺の住環境に悪影響を及ぼすおそれがある老朽危険空家等の除却を進めます。

○ 老朽危険空家等除却促進事業費補助金

35,750千円

補助額：1件あたり650千円

○ 空き家実態調査業務

26,012千円

新 空き家実態調査業務委託

24,512千円

老朽危険空家等所有者調査等業務委託 1,000千円



老朽危険空家

活力のあるまち

人々が集い、みんなが笑顔になる賑やかさや楽しさを目指した取り組みを進めます。また、地場企業の育成により、地域経済の活性化を図るとともに、生活の基礎となる雇用の場の更なる確保に向けて、企業誘致を進めます。あわせて、農産物の6次産業化の支援等、魅力ある農業の振興に取り組みます。

にぎわいと憩いの創出・魅力ある観光の振興

イベント振興・祭り関連

142,770千円 (下記表合計)

▶ 感染症対策とイベントの両立の工夫を行いながら、イベントや祭りを通して、久留米のまちに賑わいを創出します。

■主なイベント・祭り

開催時期	イベント・祭り	予算額(千円)	開催時期	イベント・祭り	予算額(千円)
4/15~16	久留米つつじマーチ	4,500	11月上旬	ふるさとみづま祭	7,000
4月上旬~下旬	久留米つつじまつり	2,000	11月中旬	ふるさとくるめ農業まつり	9,779
8/3~4	水の祭典久留米まつり	18,200	11月中旬	久留米たまがる大道芸	6,935
8/5	筑後川花火大会	40,000	12月上旬	くるめ光の祭典	21,500
9月中旬	城島ふるさと夢まつり	6,879	2月下旬	城島酒蔵びらき	10,280
10月下旬	耳納deFES	5,649	3月上旬	久留米つばきフェア	2,500
10月下旬	コスモスフェスティバル	7,548			

久留米シティプラザ、久留米市美術館、久留米アリーナなどでも様々なイベントが開催される予定です。
また、石橋文化ホールでは開館60周年を記念した催しを実施します。



R4くるめ光の祭典の様子

魅力ある観光の振興

観光プロモーション推進事業

23,521千円

- ▶ 効果的なキャンペーンや旅行業者との観光商品造成を通じて、久留米市のイメージや知名度、魅力の向上を図り、誘客の強化を図ります。

● 新 募集型企画宿泊旅行助成 5,000千円

国内外から市内への誘客や宿泊促進を図るため、旅行会社の送客に対して支援を行います。



プロモーション(商談会)の様子

インバウンド推進事業

10,312千円

- ▶ 観光コンテンツの強化や情報発信による認知度向上を図るとともに、外国人旅行客受入環境の整備を進めます。

○ SNS情報発信事業 3,000千円

創造的な文化芸術活動の推進

文化創造事業

53,889千円

▶ 久留米シティプラザを活用し、心豊かな市民生活を実現するため、多様な文化芸術に触れる機会の提供や、市民の文化芸術活動支援などを行います。

○ 多様で上質な鑑賞事業 20,409千円

○ 子ども事業・普及啓発事業 14,596千円



「劇場のおしごとたいけん」の様子

音楽によるまちづくり推進事業

12,285千円

▶ 音楽の持つ力で、久留米のまちを元気にします。

○ くるめライブチャレンジ事業 10,668千円

次代を担うミュージシャンの人材発掘や育成支援を進めます。



「Jrミュージックレクチャー」の様子

多様な地域産業の創出と振興

地域企業経営力強化促進事業

28,693千円

- ▶ 地域企業の持続的な発展のため、経済環境の変化に対応した経営基盤の強化やデジタルを活用した生産性向上などの支援に取り組みます。

● 新 中小企業DX促進診断事業

4,500千円

専門家が企業との面談を通して、経営課題等を整理・見える化し、IT活用の提案を行います。

○ 中小企業DX促進事業費補助金

4,000千円

中小企業者のデジタル技術を活用した生産性向上の取り組みを支援します。

● 拡 販路開拓促進事業費補助金

4,400千円

・ 移動販売導入支援事業

900千円

キッチンカー等を導入し、移動販売に取り組む事業者を支援します。

補助率：1 / 2

補助上限額：300千円

多様な地域産業の創出と振興

プレミアム商品券発行事業[3月補正予算]

158,183千円

- ▶ 物価高騰の影響を受けた地域内の消費を喚起し、地域経済の活性化を図るため、県と連携し、商工団体が行う商品券発行に補助を行います。

○ 商品券プレミアム補助分 155,000千円

プレミアム率 : 20%

紙商品券 : 12億4千万円

電子商品券 : 3億1千万円



多様な地域産業の創出と振興

宇宙関連の取り組み

13,000千円

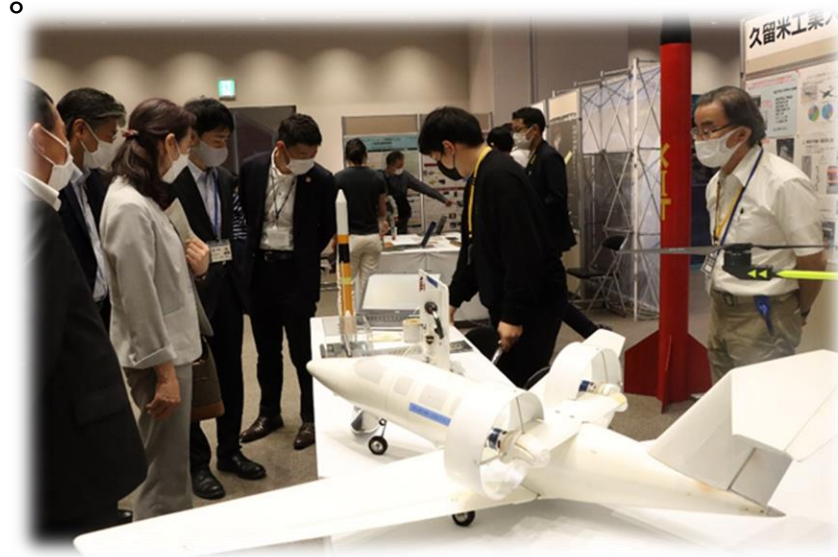
- ▶ 6月に久留米シティプラザで開催される県内初となる「宇宙技術および科学の国際シンポジウム」(ISTS)に合わせて、開幕イベント等を実施します。また、宇宙食開発をはじめ、宇宙ビジネスに取り組む企業を県と連携して支援します。

○ ISTS事業負担金 10,000千円

6月の開催期間中、レセプションや観光視察ツアー、講演会などを実施します。

● 福岡県宇宙ビジネス研究会負担金 3,000千円

- ・宇宙食開発支援事業 1,500千円
県と連携して宇宙食の開発に挑戦する中小企業を支援します。



多様な地域産業の創出と振興

創業支援事業

173,221千円

▶ 新規事業者の創出や成長支援、知的財産を活用した産業振興を図ります。また、創業者の事業化までの伴走支援を行います。

○ **中小企業新規開業資金**

金融機関に市から預託をし、新規事業者等への資金調達を支援します。

140,723千円

○ **創業支援事業費補助金**

新 若年層向け創業人材育成プログラム 7,915千円

26,488千円



若者向け創業セミナーの様子

多様な地域産業の創出と振興

産業団地整備事業特別会計

1,279,000千円

▶ 自動車や食品、バイオ・医療関連分野をはじめとした地域経済を支える産業の集積を進め、雇用創出の受け皿となる産業団地を整備します。

○ **実施設計・地質調査等委託料** 237,620千円

○ **土地購入費及び建物等移転補償金**
1,037,524千円



ボーリング調査イメージ

ネットワーク型のコンパクトな都市の形成

中心市街地再整備事業

606,100千円

- ▶ 新たな都市空間の創出や中心市街地定住促進のための環境整備を行い、都市環境の改善と活性化を図ります。



完成イメージパース

○ JR久留米駅前第二街区第一種市街地再開発事業費補助金

582,124千円

事業スケジュール（予定）



ネットワーク型のコンパクトな都市の形成

幹線道路整備促進事業

38,541千円

- ▶ 市内拠点間及び広域交通ネットワークの強化を図るため、効率的・効果的な新規路線等を検討し、幹線道路の整備を促進します。

- 新規路線整備検討業務委託等 38,000千円

環状道路整備事業

385,503千円

- ▶ 市街地の慢性的な交通渋滞緩和、安全性や利便性の向上を目的として、幹線道路の整備を推進します。

- 中環状道路整備事業 139,867千円

- 内環状道路整備事業 245,636千円



内環状道路

集い、楽しむ空間の創出

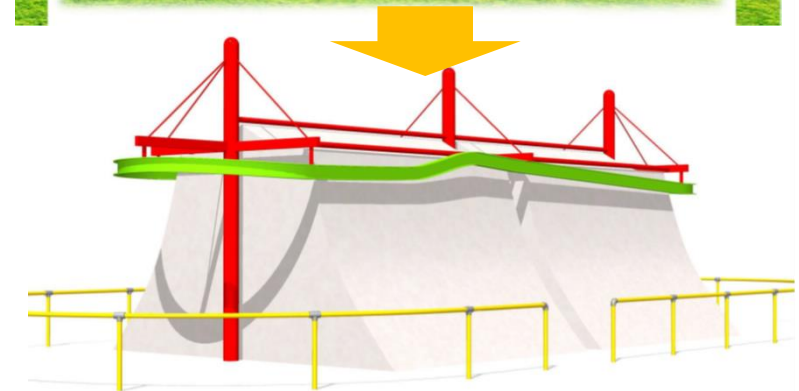
都市公園整備事業 [3月補正予算含む]

197,850千円

▶ すべての世代が楽しむことができ、外で活動したくなるまちづくりに向けて、市民の休息、レクリエーションの場である公園を整備します。

- **津福公園整備事業** 64,450千円
 - ・造園工事 47,000千円
 - ・防災型遊具等 15,400千円

- **高山公園整備事業** 133,400千円
 - ・用地及び補償費 83,400千円
 - ・敷地造成工事 48,000千円



防災遊具：非常時には防災機能を果たします

魅力ある農業の振興

農業経営多角化支援事業

15,304千円

▶ 農業所得の向上を目的として、6次産業化・農産物の輸出等の農業経営の多角化や、農商工連携の取り組みを推進します。

○ **6次産業化推進事業・農商工連携事業** 9,680千円

● **新** 6次産業化マルシェ開催業務委託料 500千円

加工品の開発や販路拡大を支援し、新たに6次産業化商品を集めたマルシェを開催します。

● **新** 農山漁村発イノベーション推進事業 5,000千円

冷凍柿等を海外に輸出し、販路拡大を目指す事業者を支援します。

○ **久留米産農産物輸出促進事業** 1,312千円

久留米産農産物の海外市場開拓を見据え、アジア地域への新たな輸出品目や輸出先等の検討を行います。

○ **農業体験・農家民泊事業** 4,312千円

地域資源を活用した食事や体験、農家への宿泊等を通し、都市と農村の交流を促進し、地域活性化を図ります。



魅力ある農業の振興

園芸農業等総合対策事業[3月補正予算含む]

701,396千円

▶ 省力機械・施設等の整備を支援し、収益性の高い園芸産地を育成します。

○ 産地生産基盤パワーアップ事業費補助金

240,667千円

水田農業等総合対策事業[3月補正予算含む]

195,452千円

▶ 水田農業機械の導入等を支援し、米・麦・大豆等の生産性向上を図ります。

○ 水田農業DX推進事業費補助金

110,038千円

畜産振興総合対策事業

74,132千円

▶ 施設や機械の整備等を支援し、畜産業の経営安定を図ります。

○ ふくおかの畜産競争力強化対策事業費補助金

61,057千円



農業用ドローン

生き生き生活できる、活躍できる共生のまち

急激な少子化や人口減少への対応として、結婚・妊娠・出産・子育ての希望を叶えるまちづくりを進めます。また、困難を抱える人々に寄り添い、誰もが自分らしく暮らせるまちづくりを進めます。

安心して産み、育てられる環境の充実

結婚・妊娠・出産・子育て希望支援事業

31,543千円

- ▶ 結婚したい人の希望が叶う環境づくりとあわせて、希望する人が子どもを安心して産み、育てられるまちづくりを進めます。

新 結婚新生活支援補助金

29,700千円

結婚に伴う住宅賃借（取得）費用等を補助します。

- ・対象：3年間の定住意思があり、世帯所得5,000千円未満
- ・夫婦ともに29歳以下：上限600千円
- ・夫婦ともに39歳以下：上限300千円
- ＊いずれも1世帯あたりの上限額



○ 結婚を希望する人のためのセミナー・出会いイベント

1,000千円

安心して産み、育てられる環境の充実

■ 出産・子育て応援関連

137,677千円

- ▶ 妊娠期から出産・子育てまで切れ目のない伴走型相談支援を充実するとともに、経済的支援を一体的に実施します。

○ 伴走型相談支援

558千円

妊娠届出時、妊娠8か月時、出産後に、保健師等が面談やアンケートを行い、妊婦やその家族が安心して過ごせるよう、寄り添った支援を行います。

○ 出産・子育て応援給付金

121,250千円

妊娠届出時:妊婦1人あたり 5万円 新生児訪問時:児童1人あたり 5万円

● 新 妊娠判定受診料助成事業

2,940千円

非課税世帯等の妊婦の経済的な負担軽減を図り、必要な支援につなげるため、初回の産科受診料を助成します。



保健師の面談の様子

安心して産み、育てられる環境の充実

● 拡 子ども医療費助成

1,072,976千円

▶ 10月から子ども医療費支給制度を拡充し、未就学児の通院・入院、小中学生の入院に係る医療費を無償にします。

■ 現在の制度(自己負担限度額)

年齢	通院	入院
0歳～3歳未満	自己負担なし	自己負担なし
3歳以上～6歳就学前	月600円	1日500円 月3,500円
小学生	月1,000円	
中学生	月1,600円	



■ 10月からの制度(自己負担限度額)

年齢	通院	入院
0歳～3歳未満	自己負担なし	自己負担なし
3歳以上～6歳就学前		
小学生	月1,000円	
中学生	月1,600円	

※久留米市独自助成（制度拡充）部分は、年間約55,000千円の負担見込み

子どもの健やかな育ちの保障

■ ヤングケアラー支援事業

10,174千円

▶ 福祉・医療・教育などの関係機関・団体等が連携し、ヤングケアラーの早期発見や、切れ目のない寄り添った支援を行います。

● 新 ヤングケアラーに関する実態調査

5,450千円

小・中・高等学校の生徒（約8,400名）に対して調査を行います。

● 新 ヤングケアラーのためのオンラインサロン事業

1,100千円

当事者同士が悩みや不安を相談しあうオンラインサロンを実施します。

○ 市民啓発講座の実施

570千円

👉 ヤングケアラー

年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負って、大人が担うような家族の介護や世話をすることで、自らの育ちや教育に影響を及ぼしている18歳未満の子ども



いじめ防止・不登校に関する総合対策

72,207千円

▶ 学校だけでは解決が困難になっている、いじめ・不登校への対応に取り組み、安全で安心して学ぶ教育環境づくりを進めます。

新 **不登校児童生徒に対するアプローチ体制の充実** 3,408千円
 全ての不登校児童生徒が、相談支援を受けることができるような、効果的な手法についての調査研究を行います。

拡 **小学校生徒指導サポーターの配置** 20,870千円
 家庭訪問や保護者からの相談に対応する生徒指導サポーターを27校に配置します。

拡 **中学校校内教育支援教室支援員の配置** 36,047千円
 不登校や不登校傾向の生徒に対して校内での居場所をつくり、学習支援や進路指導を行う支援員を全校に配置します。また、モデル校3校の体制を強化します。

○ **教育支援教室「らるご久留米」の運営** 8,444千円
 学校に登校できない児童生徒に寄り添い、様々な体験活動や学習支援を通して社会的自立に向けた支援を行います。

未来へつながる教育と学びの充実

教育 I C T 活用事業 学校 I C T 環境整備事業

592,053千円

教育ICT活用事業 242,808千円

▶ 市立学校に配備した1人1台のコンピュータ端末を活用し、個別最適な学びと協働的な学びを実施します。

- 授業支援及び学習ドリルソフトの活用
35,816千円
- 教育 I C T 環境の維持管理・拡充
142,946千円
- 教員の I C T 活用支援
16,752千円

学校 I C T 環境整備事業 349,245千円

▶ 教育情報の安全かつ適正な管理運用や、校務事務を効率的に行うためのシステムを構築・運用し、教職員の負担軽減による働き方改革とセキュリティ向上を推進します。

- 校務系環境の維持管理 149,245千円
- 新 次期校務環境整備 200,000千円



PCを活用した授業の様子

安心して学べる教育環境づくりの推進

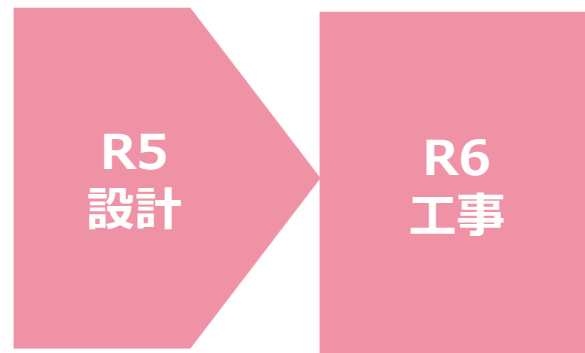
中学校空調機整備事業 [3月補正予算含む]

75,576千円

- ▶ 美術室等の特別教室にエアコンを設置し、中学校の全教室で、安全安心で快適な学習環境を整備します。

新 特別教室等空調機新設工事設計業務委託 (17校) 44,445千円

熱中症対策など、健康・安全面の観点から、特別教室等（美術室、家庭室、技術室等）にエアコンを新規設置するための設計業務を行います。



普通教室設置の空調機

高齢者・障害者福祉の充実

認知症支援活動の仕組みづくり **15,165千円** (介護保険事業特別会計)

▶ 認知症の人が地域社会で安心して暮らし続けることができるための活動を推進します。

新 認知症カフェ運営事業費補助金 **2,700千円**

誰もが気軽に立ち寄ることができ、認知症について学び、情報交換を通じて孤立の防止や介護負担の軽減等を図るための「認知症カフェ」の開設について支援します。

補助額：1団体あたり300千円



認知症カフェの様子

新 チームオレンジの仕組みづくり **847千円**

企業や地域団体等が「オレンジ協力隊」として認知症の人やその家族への支援活動を行う仕組みをつくります。

障害者基幹相談支援事業 **92,657千円**

▶ 障害児・者が、その人らしく安心して暮らし続けることができるように、「基幹相談支援センター」の強化を図ります。

拡 障害者基幹相談支援センター運営委託料 **92,657千円**

相談支援員を2名増加（17名→19名）します。

新 アピアランスケア推進事業

1,410千円

▶ がん患者やがん経験者の、がん治療に伴う心理的負担を軽減するとともに、社会参加を促進し、療養生活の質の向上を図るため、医療用ウィッグや補整具等の購入に要する費用に対して支援します。

○ アピアランスケア推進助成金

1,410千円

対象者：市内に住所を有する人で、がんと診断され、がんの治療（手術、薬物治療、放射線療法等）を受けた人や現に受けている人

・医療用ウィッグ等

対象内容：医療用ウィッグ、装着用ネット、毛付帽子

補助額：購入費の1/2または2万円のどちらか低い方

・補整具等

対象内容：補整パッド、補整下着、専用入浴着、弾性着衣等

補助額：購入費の1/2または1万円のどちらか低い方

👉 アピアランスケアとは

がんやがん治療に伴う外見の変化による心理的な辛さを和らげるケア

市民との協働の推進

校区コミュニティ組織運営費等補助金

592,938千円

- ▶ 校区コミュニティ組織の運営や、祭り・地域活動等のまちづくり事業に係る経費の一部を助成します。

● 校区コミュニティ組織人件費 523,701千円

● まちづくり事業費 61,320千円

校区コミュニティ組織運営に係る人件費

- ・ 会長報酬
- ・ 事務局職員給与
- 臨時職員給与

まちづくり事業費

- 祭り・地域活動費
- ・ コミセンの維持管理経費

地域性を活かすリニューアル

「人件費」「まちづくり事業費」それぞれの区分の中で、校区の創意工夫により、**重点事業**に**柔軟**に補助金を活用することを可能とする制度に見直します。



校区祭りの様子

市民との協働の推進

市民活動・絆づくり推進事業

- ▶ 地域課題の解決や市民がともに支えあう活動に取り組む市民活動団体や地域コミュニティ組織の活動を支援します。

○ **市民活動・絆づくり推進事業費補助金** 32,000千円

32,232千円



高齢者健康づくり活動の様子

つながり届く市民活動推進事業

- ▶ 困難な状況におかれている人へ食糧を届けるフードバンクやフードドライブ等の活動を支援します。

○ **つながり届く市民活動推進補助金** 5,000千円

5,000千円



フードドライブ活動の様子

男女共同参画の推進

男女平等推進関連

24,925千円

▶ 女性の社会的・経済的な自立を促すとともに、男女共同参画の取り組みを進めます。

- **様々な世代に向けた市民啓発講座** 5,540千円
男女平等の意識づくりのための教育や啓発を行います。
- **女性の働き方応援講座** 1,376千円
求職者、再就職希望者を対象としたセミナーや、起業などの多様な働き方を支援します。
- **生理用品配布事業** 1,500千円
困難を抱える方に対し、生理用品の配布を通じて、必要な支援窓口につながります。
- **パープルリボンキャンペーン** 754千円
女性に対する暴力のない社会を目指し、相談窓口の周知と女性に対する暴力根絶の啓発活動を行います。



パープル&オレンジツリー

■ ワーク・ライフ・バランス促進事業

2,780千円

- ▶ 仕事と生活が両立可能な社会の実現に向けて、多様な働き方と魅力ある職場づくりのための取り組みを促進します。

● 働き方改革促進事業

1,380千円

働き方改革を促進するため、社会保険労務士等の専門家が事業所を訪問し、相談支援を行います。

対象企業数：30社予定

○ ワーク・ライフ・バランス促進事業

1,400千円

- ・両立支援セミナー 847千円
- ・テレワークセミナー 553千円



● 新 動物管理センター移転事業

28,896千円

- ▶ 動物愛護の取り組みのさらなる促進を図るため、動物管理センターの移転・新設を行います。

○ 動物管理センターの移転事業

28,896千円

実施設計等	17,140千円
造成工事	11,756千円

R5
設計
造成工事

R6
造成・建築
工事



久留米市動物管理センター

市民スポーツ推進事業

7,799千円

▶ 市民がそれぞれのライフステージや適正等に応じて、スポーツに親しむ機会の充実を図るとともに、トップを目指すジュニアアスリートに対して支援を行います。

○ジュニアアスリートの発掘・支援 3,709千円

●新 ジュニアアスリートスポーツ講習会 369千円

●新 県タレント発掘事業受講者支援事業 430千円

○スポーツ機会の提供・充実 2,289千円

○ホストタウンスポーツ交流 1,079千円

●新 障害者スポーツの普及促進 622千円

・障害者スポーツに関する教室や体験会の開催



宝くじドリームベースボール



車椅子バスケット体験会

行政サービス等のデジタル化

デジタル技術を活用して、行政サービス等の利便性や効率性の向上を図り、便利で住みやすいまちづくりを進めていきます。

新 電子図書館導入事業

41,470千円

- ▶ 開館時間に関係なく、どの時間帯でも利用が可能な非来館型のサービスとして、パソコンやスマートフォン、タブレット端末を用いて読書を楽しめる電子図書館システムを導入します。

○ 初期導入委託料 770千円

○ 電子書籍コンテンツ使用料 40,700千円

初年度は1万冊の電子書籍コンテンツを導入予定です。

電子図書館事業は、久留米市、大川市、小郡市、うきは市、大刀洗町、大木町の4市2町（久留米広域連携中枢都市圏）で、連携して取り組みます。



電子書籍のイメージ

便利で住みやすいまちづくり

デジタル活用促進関連

18,226千円

▶ デジタル技術を活用し、より便利で利用しやすい行政サービスを提供します。

○ **コンビニ交付システムの運用** 9,635千円
マイナンバーカードを利用して住民票などの証明書がコンビニエンスストアで取得できます。

● **AIチャットボットの導入** 660千円
市民の質問に、いつでも回答できるAIチャットボットを導入します。

○ **電子申請システムの活用** 200千円
申請や届出などの手続きをインターネットを利用して行える電子申請システムを活用します。

○ **公共施設予約システムの運用** 6,039千円
Web上で公共施設の空き情報の確認・予約ができるシステムの運用を行います。

● **MaaS検討会議負担金** 1,692千円
複数の公共交通の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行う「MaaS（モビリティ・アズ・ア・サービス）」の導入に向けて、県が進める実証実験に参画します。

キャッシュレス決済導入事業

6,679千円

▶ 証明手数料等のキャッシュレス決済を進めます。

新 総合支所・市民センターキャッシュレス決済導入 6,679千円

- ・総合支所導入分 2,961千円
- ・市民センター導入分 3,718千円



市役所市民課、税収納推進課にはR5.2月から導入しています。
 児童センター、子育て交流プラザ、保健所（動物関係）、鳥類センター
 では、R5.7月より一部の料金をキャッシュレスで取扱う予定です。



キャッシュレス機器(例)

6. その他の主な新規項目

令和5年度一般会計予算における新規項目は、39件 591,117千円です。特別会計を含めると、45件 637,637千円です。

No.	項目名	予算額	事業内容
1	委員会映像配信事業	218	議会改革の一つとして、常任委員会の録画映像をインターネットで配信します。
2	デジタル広報推進事業 (カタログポケット使用料)	528	読上げ機能を持つアプリ(カタログポケット)で広報紙等の多言語化に対応します。
3	市民活動・ネットワーク形成支援事業 (クラウドファンディングセミナーの開催)	458	市民活動団体のクラウドファンディング等の活用に関するセミナーを開催します。
4	乳幼児等健診事業 (屈折検査機器の整備)	6,169	弱視等の早期発見のため、3歳児健診時に使用する機器の導入について支援します。
5	盛土防災推進事業(森林含む)	15,000	盛土の規制区域を指定するための基礎調査を実施します。
6	住生活推進事業 (マンション管理適正化事業)	1,136	分譲マンションの管理適正化を推進するための訪問調査や相談支援を実施します。
7	地域生涯学習振興事業 (セミナーの開催)	300	生涯学習の視点に立った地域づくりに関するセミナーを実施します。

7. 主な見直し項目

項目名	R4予算	R5予算	見直し額	見直し内容
シティプロモーション推進事業費補助金 (くるめの魅力発信事業)	1,166	0	▲ 1,166	公共交通機関等の車内広告による情報発信の手法を他の効果的な手法に見直します。
舞台設備操作業務委託料 (社会人権・同和啓発事業)	3,017	2,500	▲ 517	講演会等の動画撮影の工夫により、見直します。
敬老お祝い事業	13,532	2,003	▲ 11,529	100歳、110歳時の祝金を廃止し、100歳時に記念品を贈呈する制度に見直します。
にこにこステップ応援講座 (地域介護予防活動支援事業)	1,799	1,290	▲ 509	講座形態を教室型から派遣型に見直します。
環境啓発講座(えこっこ講座) (環境まなびのまちづくり事業)	1,153	0	▲ 1,153	より効果的な啓発事業となるように、えこっこ講座の内容を他のイベントに統合します。
地域企業等DX啓発・人材育成事業 (ワーク・ライフ・バランス促進事業)	1,755	0	▲ 1,755	市内企業のDX推進については、他事業の中で効果的に実施します。
緑の街並みづくり事業費補助金 (中心市街地拠点緑化事業)	1,000	0	▲ 1,000	利用実績を踏まえ、より効果的な緑化事業となるように、現在の補助金を廃止し、新たな制度に見直します。